



萌莉ちゃんを囲んで応援団



代官山教会



右前が石井美有ちゃん

上田 萌莉 × 倉沢 茉紘

デュオコンサート

桃の節句の3月3日(日)、上田萌莉さん(pf.)と藝高からのクラスメイトの倉沢茉紘さん(vl.)のデュオコンサートが代官山教会にて開かれました。ピアノは1914年製ニューヨークスタインウェイ。艶消しボディ。譜面台が現代のものとは反対に前側に倒れるピアノでした。65席ほどのこじんまりしたホールで、演奏者の呼吸も聴き取れるほどの近さ。聴衆の側からすると演奏者の温度も感じ取れる温かな雰囲気であったのですが、演奏者としてはきつい場面もあったかと思えます。前半はドイツ音楽、後半はフランス音楽。萌莉さんも2曲ソロを演奏。あとはヴァイオリンとのアンサンブルでした。プログラムがよく考えられており、楽しいコンサートで本当に眠気が襲ってくる暇ありませんでした。会場には、有永真由美さんとそのご両親、石井美有さん、服部裕子さん、服部葵さんが応援に駆け付けて下さっていました。若手が頑張っている姿を見るのは本当に清々しくていい気分でした。

ピティナピアノコンペティション

全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)によりますコンペティションの課題曲が今年も発表されました。コロナの為に2020年度は中止。その後2年ほど参加を見合わせておりましたが、昨年からまた参加しております。昨年と同じく、吉田侑永くん、金子舜くんが参加を決めました。バロック、クラシック、ロマン、近現代の4期の課題曲から学ぶものは大きく、また緊張の場をこなす事身につける人間力は目を見張るものがあります。コンペティションという厳しい闘いを通して培う絆は強く、毎年、人生の友と言える関係も作り出しております。これも人生を豊かにする宝物となる事でしょう。コンペティションに興味のある方は田代にお声をおかけ下さい。田代の方から特定のお子様にお声をおかけすることはしておりませんので悪しからず。

合格おめでとう！

鳥居 遼人さん 埼玉県立越谷北高等学校
増田 結さん 千葉県立小金高等学校

今年も嬉しいご報告が届いております。ピアノで頑張った子達は勉強も踏ん張る力がついていきます。自分の進みたい道を目指して、まっしぐらに進んで下さい♡

東京音楽大学附属高等学校卒業演奏会

石井美有さんが卒業試験で、担任の先生が「ピアノでこんな点数、見たことがない。」と言われる高得点を頂き、3月9日(土)の卒業演奏会に出演致しました。ブラームスの「パガニーニの主題による変奏曲」は超絶技巧な上に第1巻、第2巻合わせて演奏時間20分を優に超えるプログラムです。美有さんは小さい時から難しい曲を弾きこなしてきましたが、今回の選曲はその最たるもの！テクニック的なものはどこを取ってもため息が出るような曲ですが、美有さんは本能とでもいうような自然さで弾きこなしてしまいます。根っからのポジティブ思考、音楽・ピアノ大好き人間ならではのこぞできる技と思ってしまう。未だに本番前には私の手を握りにきますが(苦笑)卒業演奏の日は私はレッスンで駆け付けられませんでした。あとで動画を見せて頂き、あの緊張の場でこのスケールの大きな演奏をした美有ちゃんに感無量でした!! 応援に駆け付けて下さった上田萌莉ちゃんご一家、有難うございました!!

ピティナピアノステップ 流山地区

流山ステップは6月2日(日)にスターツおおたかの森ホールにて開催致します。今回は久しぶりにトークコンサートも復活します。根津理恵子先生は、私が2007年に「日比谷ゆめステーション 継続表彰記念コンサート」のステージマネージャーをさせて頂いた折、トークコンサートのピアニストをお引き受け下さり、当日の朝、海外から成田に到着。その足で、浜離宮朝日ホールに駆けつけて下さり、お疲れも見せずにさわやかに軽やかに演奏して下さいたのを鮮明に覚えております。それ以来のご縁ですので、ステップに参加しないみなさまにも、是非是非、理恵子先生の演奏を聴いて頂きたいと思っております。発表会直後から、ステップに参加したいとお申し出下さったみなさま、今度はスタインウェイのピアノです♡2019年に初めてスターツおおたかの森ホールでステップを開催した折は、講評時にアドバイザーの先生方への質問コーナーも設け、楽しいステップとなりました。今回もいろいろな事を復活させたいと思っておりますので、奮ってご参加下さい♡

編集後記

お母さまからの嬉しいメールの中の一つ。レッスン後の帰り道で小4の男児「ああ、ピアノのレッスンを受けると心がポカポカする。こんなこと考えちゃいけないのかもしれないけど、いつかは田代先生も引退するでしょ。そうしたら、お茶飲み友達になれるかなあ。先生に会えなくなるとしたら泣いちゃうよ。」結構ズバズバと本音でぶつかっている私のレッスンの意味をきちんと理解して、こんな事を言ってくれる。教師冥利に尽きます！お茶飲み友達でもお酒飲み友達でもなりますよ(笑)。。。でも、まだまだ引退しないけどね(笑)有難う♡この言葉で生きる力をもらいました！



2月24日(土)にさわやかちば県民プラザにて31th Piano Concertを開催しました。朝早くから駆け付けて下さったスタッフ8名、係をして下さったお父様お母様方9名、発表会を支える「陰の力」です。この方達のお陰で、大船に乗った安心感で参加者が心地よく万全の体制でステージに足を踏み出し、ピアノに向かって渾身の演奏が出来ました。本当に有難い事、今の世の中であってこういう温かな絆を築いていけることを誇りに思いました。発表会は一人の手では出来ない、況してや子供一人が頑張っただけでは

いい演奏など引き出せないのです。発表会直後からお礼と感動のメールが続々と届きました!! 自分の子供のことだけではなく、発表会を支えた私やスタッフへのお礼、成長が目立った参加者へのお褒めの言葉などなどが書いてあるそのメールを読ませて頂きながら、「いいことは自分の手柄、悪いことは人のせい」にすることの多い昨今、きちんと発表会を支えた陰の力にも気付き、そしてその思いを伝えて下さる事に感じ入り、涙が流れました。疲れも吹き飛ばす思いです!! 「幸せだから感謝するのではない。感謝できることが幸せなのだ。」となにかで読みましたが、周囲への感謝を忘れないうちの教室のお母様方は心豊かな毎日をご過ごしていらっしゃると思います。この時期ですので、残念ながらお一人の欠席者が出てしまいましたが、お母さま方がその方の心情を慮り、温かいお言葉を私に託して下さいる事も有難い事だと感じました。

素晴らしいピアノコンサートに娘を参加させて頂き、また拝聴をさせて頂きいただき誠にありがとうございました。スタートのナレーションから先生の壮大なスケールの世界に誘われました。個人的には今回のコンサートが今まで出席した中で一番心に残りました。

桜田悟さんと芦谷ゆふさんのバイオリンアンサンブルはとても素晴らしく良いものを聴かせていただいたという想いです。数々の大舞台で活躍しているプロのお二人の生演奏を聴ける機会を本当にありがとうございました。

また桜田悟さんとお婆様の新関愛子さんとの共演は聴き手の心も温まる素敵なステージでした。

今回ピアノコンサートを拝聴し改めて音楽の良さを感じました。そして私は子供達にピアノ(音楽)を習わせたかった気持ちの原点を思い出しました。音楽は言葉や時空をも超越し人の心に響くのですよね♪

最後に先生の子供達へ掛ける情熱の深さに感動致しました。どの子にも目を配って下さり情熱をもってご指導くださる田代先生には感謝しかありません。BRAVO!

田代先生
本日は素敵な発表会をありがとうございました。朝から大変お疲れ様でした😊☆
小さい頃から成長を見てきた子達が立派な大人になり、今日それぞれの道で頑張りがながらピアノを演奏する姿を見て改めて田代先生の下でピアノを続けていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。
田代先生の下で、ピアノだけでなく思いやりの心を学んできたからこそ、困難を乗り越える力が育まれ、それが演奏に繋がっているのだなと思いました。
娘も私には話せない事も、先生に聞いて頂いているようで、相談できる先生がいてくださる事に感謝しております😊

田代先生、今日はお疲れ様でした。そして今日までのレッスンでもお世話になりました、ありがとうございます。

田代先生の発表会は、発表会というより演奏会というイメージです。大人子ども関係なく、この日のために練習に取り組んでステージに立つ姿、みんながピアニストに見えました。

芦谷さんや上田さん石井さんの演奏は、ピアノが喜んでいるように聞こえました。私は本当に同じピアノを弾いたのかな?💧と覚えてしまうほどです。

先生には厳しくご指導いただき、途中へこたれていた事もありましたが、昨日は言われた事を中心に何度も弾いていました。ご指導ありがとうございました。

また、発表会を支えてくださっているお母さま方にもよろしくお伝えください。

発表会ありがとうございました!!
先生の発表会に出させていただけること、お手伝いさせていただけること、お教室の皆様と沢山お話できること、そして田代先生にお会い出来ること、本当に楽しくて感謝の気持ちでいっぱいです♡

お教室の皆様も聴いてくださった方も優しい空気感で本当に素敵な発表会でした!毎年素敵な演奏を沢山聴かせていただいて、その度に私ももっと頑張ろうと気合いが入ります!

先生は、ぶちかましておいでねと送り出してくださったり、ニコッと大きく頷いてくださったり、ハンドパワーをいただいたり、緊張していましたが楽しく本番を迎えることが出来ました!



朝からのスタッフ ベーゼンドルファー ウェルカムボード 吉田侑永くんと見守るお婆ちゃま 金子舜くんと見守るお母さま

はじめの言葉はレッスンではまだ声を聞いた事がない吉田侑永くん。この侑永くんに、はじめの言葉を依頼することになったのは、昨年のドタバタ劇の一つが起因していました。はじめの言葉は当初、金子舜くんがすることになっていました。そして、ある生徒に今までの「はじめ・終わりの言葉」の原稿を渡した上で、10月初めに終わりの言葉を依頼し11月末までに原稿を書いてくれるように頼みました。およそ2ヶ月の猶予があったわけですが、11月末に書いてきた原稿は至極ありきたりのものでした。私は常に「音楽する者は文章が書けなくてはいけない」と言っておりますので、夏に海外、音楽の都ウィーンに行き、音高に進学希望しているその子に、そういう経験も含めて書いてくれるように再度依頼しました。しかし、その子はそのまま教室を退会して行きました。このnewsletterという公の場でそのご一家を批判するつもりはありません。侑永くんの置かれた状況を知っておいて頂きたいだけです。今回は数年ぶりに復活させる「言葉」でしたので私の中にも期待感がありました。また、毎回、この役を果たした子供達が大きく成長するのを今までも見てきております。私もどうしたものかと考えました。このまま、終わりの言葉不在でやるか。。。時既に2ヶ月の口スをしていました。その時に、侑永くんのおばあちゃまにご相談しました。そうしたら、おばあちゃまが「先生、原稿なんて一週間で書けますよ。」と仰って下さいました。それで、年長の金子くんには終わりの言葉に変わってもらい、侑永くんがはじめの言葉に。侑永くんのおばあちゃまに助け舟を出して頂いたのです。金子舜くんも急遽、はじめの言葉から終わりの言葉に変更となり、二人の挑戦が始まりました。ホールで本番前にはじめの言葉、終わりの言葉のリハーサルをしたのは今回が初めてです。しかし、せざるを得ない事情もあったのです。侑永くんはしっかり声を出して、大勢のお客様の前で長文のご挨拶が出来ました。コンペ仲間でありながら侑永くんの声を聞いたことがなかった舜くん「侑永くんはあんな声を出すんだね。僕も頑張る！」そして、舜くんも私の講師挨拶の後の大トリの役目を立派に果たしてくれました。感動でした！

今日は、素晴らしい発表会をありがとうございました。心からお礼を申し上げます。

まず始めの言葉の前に先生のお話（ナレーション）があり、それを聞いて胸が熱くなり凄く感動しました。その言葉の後が〇〇だったので、より一層感動し家族皆で、涙しました。このような場を与えてくださり改めて、お礼申し上げます。

いつも思う事ですが、先生との出会いが無ければ今の〇〇はありません。今回始めの言葉を練習する中で自信がついたのか、学校で6年生の卒業を祝う会の学年のナレーションに立候補したと教えてくれました。体育館で練習が始まったようですが、ワイヤレスマイクで話らしく、それも田代先生からコツを教えていただいているので、マイクの扱いにも自信を持って臨めていて、セリフも簡単！と話しています。〇〇は、「始めの言葉で自信がついたから立候補したよ」と話していました。学校でも、大人しく静かなようなので、担当の先生も驚いていると思います。

最後の先生のご挨拶も、子ども達一人一人を大切に愛情を持ってご指導してくださっている想いが伝わり、ここでも又感動で、涙が・・・ 今日1日先生もお疲れになったと思います。お疲れを取っていただいて、今後も子ども達の為に指導よろしくお願いたします。

昨日はどうもありがとうございました！

発表会直前に体調を崩すアクシデントに見舞われましたが、〇〇の心が折れることなく前を向き続けることができたのは、先生がいつも励まし背中を押し続けてくださったおかげです。「絶対に諦めさせない」という先生の想いが伝わってきて、どれだけ勇気をいただいたことか。本番の演奏では悔しいミスもありましたが、最後までやりきって胸を張って舞台袖に戻っていく姿に、〇〇の成長を感じ嬉しく思いました。発表会に出演された皆さんお一人おひとりにも様々なドラマがあって、それを乗り越えて当日の晴れやかな姿があるんだなあとと思うと、感動もひとしおでした。

素晴らしい1日を本当にありがとうございました！！

きっと、技術的なことはいろいろあるのでしょうか、その子なりの努力や苦労があり、発表会が1年間のレッスンの成果だと思うと、どの曲もドラマチックに聞こえてきて素晴らしいと思えました。来年、また成長した姿でステージに立てればそれでOK。そう思えるようになった自分は歳をとったんだろうなと思います（笑笑）

田代先生にも芦谷先生にも、お元気でいつまでも子供たちのためにがんばっていただきたいです♥

発表会をみに来てくれたお友達のママ達からは、「みんなのレベルが高過ぎてびっくりした」「みんなとても上手」といろいろと教室全体を誉めて頂きました。



朝からのスタッフ 係のお父さま、お母さま方 出番待つ子供達 特別出演 桜田 悟さん 特別出演 芦谷 ゆふさん

ステージ裏で、毎年、「手は冷たくない?」「頑張っってね!」と出演者に声はかけますが、今回はより具体的なアドバイスをしました。「リハーサルのように速く弾かないのよ、拍子をしっかり感じて、やりたい事が全部出来るテンポで弾いてね!」特に、プログラムの一回目のソコの初めの方の出番の子達。リハで失速した子が多かったので(苦笑)緊張の中なのでアドバイスをして右の耳から左の耳に抜けていこうと思ってもいきました。しかし!!その子達がテンポに気をつけて、曲を曲らしくしようと弾いているのに気づいた時、また、涙腺崩壊しました。これも大きな大きな成長です。ハプニングは色々あったようですね。これは、私は気づきませんでした。梅昌大くん、演奏中に眼鏡が動いて弾きにくくなったのをわざと自分で床に落とし、そのまま弾き続けて、演奏後に回収!また、リハで止まったり、弾き直したりした中学生女兒、緊張のせいか本番でも左の音を少し忘れましたが、しばし右手1本で弾き続け、すぐに左手を復活させました!演奏を止めないで、その場でできる事をする!大事な事です!「誰も助けに来ないよ。自分でなんとかする。それが人間力!」とリハーサルで声をかけ続けた意地悪ばあさんがいたとかいないとか(笑)

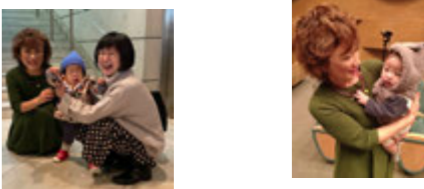
小さい生徒さんの頑張る姿、聴いていて本当に楽しいアンサンブル、ハプニングにも動じず、最後までかっこよいステージだった昌大くん、お仕事で多忙の中、週1でレッスンに通い音楽と向き合う大人の方の演奏は本当にぐっときました。ゆふさんと桜田さんの素敵な演奏は、とても優しい気持ちになりました。色々な形の頑張る姿をみさせて頂き、そして生徒さんや、親御さんを引っぱりあげる田代先生のパワーは、本当に素晴らしいなあと、あらためて感じました!毎年お声をかけて頂き本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました!

朝からのスタッフ・・・有永真由美、石井 美有、石井 千恵 稲垣 悦子、上田 萌莉、上田 紀子 沼田 佳子、沼田 遥菜 (私が「田代組幹部」と呼んでいる元のコンペ組) 進行表をお渡しして1日の仕事をお願いしています。お忙しい中、進行表をよく読んで下さり、朝の荷物の搬入から準備、進行、片付け、荷物の搬出までお手伝い下さいました。 係をして下さったみなさま(受付、写真、花係など)・・・石井 夏月、石井 清夏、井坂 洋美 川口 弘恵、鈴木 瑠美、寺田 仁美、村岡 賢治、廣瀬かほる、三輪 幸子

毎年毎年思うのですが、発表会の準備は入念で細部まで細かく配慮されていて、そんな舞台上で思いっきり弾ける子供たちは幸せだと思えました。子供達の可能性を信じ真剣に全力で向き合う先生のお姿がまた子供達を育てているんだと感じました。その力は将来どの道に進む事になっても、人生の財産になると思います。素敵な発表会に携わらせていただけて嬉しく思います。ありがとうございました😊

先生昨日はありがとうございました。大変お疲れ様でした。さすがにハラハラした発表会でした(笑)緊張とは無縁だった娘があのリハではさすがにへこんだようでもなんとかしなないと思っていたみたいですが最後まで不安を残したまま本番に挑んだようでした。わかってはいましたが中学生になりテスト、部活等で明らかに練習できる時間が減り結局練習量の足りなさが自信の無さにもなりあのようなことにも繋がるなあとも...でもあの状況で1人でなんとかする、それが人間力を育てる!という先生のお言葉、本当にそうだなあと思い、(すぐ手帳にメモりました笑)結果本人にとっても1番成長できた発表会になったのではないかと思います。終わってから笑いながらこの曲恐怖症だわ〜とか言ってますが一丁前にプレッシャーも感じる年齢になったのかなと感じます。本当にありがとうございました。皆さんの演奏も本当に素晴らしいかったですね。先生もゆっくり休んで下さい。

田代先生へ (参加した小4男児) ぼくは発表会がとても楽しかったです。ぼくは本番の時よりリハーサルや練習のほうがよっぽどきんちょうしました。ぼくは発表会をとても楽しみにしています。また、来年も楽しみに待っています。



発表会の会場には桜田悟さんの奥様やお子さんの朝日くんがパパやおばあちゃま、新聞愛子さんの演奏を聴きにきて下さっていたり、また、休会中の生徒、及川彩乃(旧姓:古里)ちゃんが陽大(ハルト)くんを連れて聴きにきてくれたり、私は孫に囲まれた幸せ気分となりました。